

ごあいさつ

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの「平成30年北海道胆振東部地震」により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに、当社グループの「中間期ディスクロージャー誌 2018」をお届けいたします。本誌では、2018年度中間期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しますので、ご覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

当社グループの主要営業地域である北陸三県の経済は、電子部品や業務用機械などの業種での生産が高水準で推移したほか、個人消費も緩やかに拡大し、雇用情勢においては着実な改善のもと人手不足感が強まっております。また、北海道においては、震災にともなう観光産業等への一時的な影響や住宅投資・公共投資に弱い動きがみられるものの、個人消費や設備投資が堅調に推移し、持ち直し基調を維持しております。

こうした中、当社グループは今期が最終年度となる中期経営計画「BEST for the Region」のもと、「営業力の強化」、「経営の効率化」、「経営基盤の強靱化」を柱として各種施策に取り組んでおります。

個人のお客さまには、タブレット端末を活用した預かり資産販売システムの導入により、投資商品購入の手続きがより簡易に行えるよう利便性の向上を図ってまいりましたほか、資産運用コンサルティングの専門担当者をエリアごとに戦略的に配置する体制を順次導入し、お客さまの多様な運用ニーズに応じたサービスの提供に努めております。また、法人のお客さまには、事業承継やファイナンスなど様々な課題に対応する専門部署の増強や外部の専門家を含む生産性革新サポートチームの組成によるコンサルティング活動の拡充、ビジネスマッチングシステムの導入による販路開拓等の支援強化など、企業のライフステージに応じた支援に積極的に取り組んでおります。

一方で、イントラ機能を活用したペーパーレス化やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用による事務の簡略化など、業務プロセスの改革により効率化を進めてまいりました。効率化によって生まれる余力を活用して、さらなるサービス強化につなげてまいります。

各種施策の成果を着実に積み上げていくことにより、持続的に企業価値を向上させるべく、引き続きグループ役職員が一丸となって取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年1月

取締役社長 庵 栄伸 (北陸銀行 頭取) 取締役副社長 笹原 晶博 (北海道銀行 頭取)

CONTENTS

ごあいさつ	01
業績ハイライト	02
- ほくほくフィナンシャルグループ	
業績ハイライト - 北陸銀行	03
業績ハイライト - 北海道銀行	04
平成30年北海道胆振東部地震の発生と当社グループの取り組み	05
個人のお客さまへの取り組み	06
法人のお客さまへの取り組み	07
1. 創業・新規事業開拓の支援	
2. 成長段階における支援	
3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援	
Environment(環境)への取り組み	11
Social(社会)への取り組み	12
・地域への取り組み	
・従業員への取り組み	
Governance(ガバナンス)への取り組み	14
企業概要	15
財務データ	16

■本誌は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
■本資料に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。
■本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。